

〔浦崎みゆき議員 登壇〕

○10番 浦崎みゆきさん 皆さんこんにちは。平成最後の一般質問を行いたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは読み上げまして、一括質問、一括答弁をいただいた後に個別で質問を行います。よろしくお願いいたします。

まず、児童虐待防止について。（１）児童相談所が対応した件数の中で本町の数把握しているか。（２）本年より2022年度までに子ども家庭総合支援拠点を全市町村に設置するが、本町の対応はどうか。（３）本町で行っている対策はあるか。（４）千葉県野田市で起きた事件は連絡体制の不備が報道されているが、本町の教育委員会の体制はどうなっているか。

大きな２番、未婚ひとり親支援の状況は。（１）本町の未婚ひとり親の推移はどのようになっているか。（２）未婚ひとり親支援はどのようなものがあるか。（３）本年度並びに今後の支援計画並びに内容はどのようなものか。本町はどのように取り組んでいくのか、お伺いいたします。

大きい３．子育て支援を問います。（１）本町の待機児童数は幾らか。（２）待機児童ゼロの取り組みはどのように進んでいるか。（３）保育コンシェルジュ（利用者支援専門員）の果たす役割はどのようなものか。

大きい４．防災・減災について。（１）福祉避難所はどのように進んでいるか。（２）国の示す自治体インフラの老朽化対策として防災・安全交付金があるが本町の活用はあるか。（３）放課後児童クラブ（学童クラブ）に対する防災対策はどのようになっているか。以上、よろしくお願いいたします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項１点目の児童虐待防止について。（１）についてお答えします。中央児童相談所において、虐待相談を受けた件数のうち、本町の件数は平成27年度が372件中7件、28年度が407件中3件となっています。

（２）についてお答えします。子ども家庭総合支援拠点については、去年の５月から地域福祉推進計画の見直しの中で議論をし、設置に向けて第２次計画に方針を明記しております。

（３）についてお答えします。本町では、毎年11月の児童虐待防止推進月間において、町広報にて周知を図るとともに、ポスター掲示や窓口でリーフレット配布を行い、児童虐待への早期発見と通報の施しを行っております。また保健師が行っているさまざまな妊産婦支援事業から得られた情報をもとに、特に支援が必要な若年妊婦や産前産後うつなどの方針を対象にして、福祉的支援へとスムーズにつなげる連携体制を整え、児童虐待防止の対策強化を図っております。

質問事項２点目の未婚ひとり親支援の状況の（１）についてお答えします。未婚ひとり親の推移につきましては、３カ年の推移では各年８月時点で、平成28年が64人、29年が59人、30年が58人となっています。

（２）についてお答えします。本町では、ひとり親世帯への支援と同様に、未婚ひとり親世帯へも各種支援を行っております。例えば学童クラブ保育料減免や保育園の利用者負担額等減免などがあります。

（３）についてお答えします。今後も未婚ひとり親支援は現在の施策を継続実施してまいります。また平成31年度は未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時特例給付金１万7,500円の支給が平成32年１月に予定されていますので、県と連携して事務を進めてまいります。

質問事項３点目の子育て支援を問うの（１）についてお答えします。平成31年度入所に関する本町の待機児童数は、３月11日現在で261人となっております。

（２）についてお答えします。待機児童ゼロの取り組みに関しまして、平成31年度に90名定員の認可保育園を２つ新設し、平成32年４月開園を目指します。また150名定員の認定こども園も来月開園に向けて準備を進めています。さらに小規模保育園についても新設に向けて取り組んでまいります。

（３）についてお答えします。コンシェルジュにつきましては、窓口にいらした方に対して保育園入所の手続方法やその他一時預かり事業、子育て支援センターなどの利用案内、また認可保育園等に入所できないお子さんには町内外の認可外保育園等の情報を届けるなど、保護者に寄り添った支援を行っております。

質問事項４点目の防災・減災について。（１）についてお答えします。町防災計画で

は、避難生活が長期化する場合等、要配慮者が介助や生活相談等を受けられ、安心して避難生活ができる体制づくりとして福祉避難施設の設置を検討すると規定しています。現在、乳幼児とその保護者を対象として認可保育園14カ所、また医療的ケアが必要な要配慮者を対象として沖縄第一病院と福祉避難所設置に関する協定を締結しております。

(2)についてお答えします。平成28年度、29年度に南風原町内の橋梁長寿命化点検業務を実施しております。平成31年度は点検結果に基づき町道68号線照屋橋の詳細設計を予定しております。

(3)についてお答えします。学童クラブの防災対策につきましては、毎年防災・防犯対策に関する計画書と避難訓練計画の提出を義務づけており、全ての学童クラブで計画に沿った避難訓練が実施され、その報告書も事業実績で提出されております。以上です。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項1番目の(4)についてお答えいたします。教育委員会の体制としては、教育相談員連絡会や南風原町要保護児童等対策地域協議会の個別ケースの会議において、それから町のこども課、県の児童相談所、町内小中学校等と連携し、情報の共有化と連絡体制の強化を図っております。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん 答弁ありがとうございます。それではまず、1番の児童虐待防止について伺いたします。本当に悲惨な事故が後を絶たないわけでありますけれども、今回は特に沖縄に関連した事件だったということで、皆さん本当に関心を持って聞かれていることだと思います。二度とそのような事件が起きないように本町の体制を一般質問しているところであります。

まず1番目の人数、中央児童相談所7件と、それと平成28年度には3件、虐待の相談に行かれている方がいらっしゃいます。その中で本町においても通告や相談の受け入れはやっているものだと思いますが、まずやっているかどうか、そこと7件、3件に関して本町に連絡等はあるのか、そこを確認します。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 まず本町も当然窓口となっておりますので、本町のほうにもそういう虐待等の相談はあります。またこの平成27年度の7件、それから28年度の3件と、児相からもきちんと報告が来て、また町のほうではそのあたりを要対協とか、そういった部分でしっかり対応等を協議しているという状況でございます。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。しっかりと把握をされていて、その後の支援体制もできているということがわかりました。本町の窓口に来た件数、そこはどういう状況でしょうか。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 平成30年度の今現在ですと、疑いとかそういったもの全て含めて18件の相談がありまして、鳴き声の通報とか、あるいは身体的虐待の疑いがあるとか、心理的虐待の疑いとか、そういったもの全て含めて18件あります。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。その18件も含めて今おっしゃった要対協、その辺の支援に全て結びついているということでしょうか。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 それぞれの案件について、相談員がしっかり相談を受けながら、必要性がある方については要対協につないで支援していくという形になります。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん その中で、今18件、どれぐらいの割合がそこに結びついていきますか。何件でもよろしいです。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 今現在の、先ほど申し上げました18件中4件が重い案件と捉えていまして、要対協につないで対応しているという状況でございます。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。やはり南風原町においてもゼロではないということを確認できました。やはり皆さんがそのように相談事業に乗って、またしっかりと支援していただくことによって防止になっているかと思っておりますので、そこら辺の体制、また今後も続けていっていただきたいと思います。

(2)でございますけれども、これは設置に向けて第二次計画とありますが、この第二

次計画はいつごろの予定でしょうか。その第二次計画にしか取り上げられないのか、これは大事なことだと思いますので、もっと早目にそれができないのか、この子ども家庭総合支援拠点はどういった虐待問題に関して支援を細かくやっていくということで、妊娠中の女性や子育てに悩む保護者の、そういう危険因子を取り除くということで提案をされている支援拠点であります。そういう意味からすると、設置に向けて取り組んでいることはいいんですけれども、早目の対策が必要だと思いますが、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 答えします。まずこの地域福祉推進計画、第二次の計画については昨年の12月定例会に上程しまして議決いただいた、第二次の町の福祉推進計画で、この4月1日から二次がスタートします。その計画の中にもしっかりと子ども家庭総合支援拠点について書き込んでいるということで。まずその拠点となる場所等の設置については、これから2022年度までに全市町村設置ということですので、我々もそこはこの計画の中で示して、そして新年度でまた策定する子ども子育て支援事業計画の中で、またそういった年次的な取り組み等もはっきりさせていくと。ただ本町の体制としては、子ども家庭総合支援拠点についての、子どもとその家庭や、あるいは妊産婦等を対象とした実情の把握とか、相談体制とか、継続的な支援については、それぞれこども課や保健福祉課、社協とそれぞれ連携して取り組んでいますので、ほぼこのような子ども家庭総合支援拠点の役割という部分ではできてきているということでございます。そして本町においては、また相談体制の強化ということで、今度の4月1日からは専門職、社会福祉士の本務の職員も1人こども課のほうに増員配置していきますので、そういった体制の強化の部分ではできてきているということで、それがまたいつここが支援拠点ですというふうな、組織の体制等も検討しながら取り組んでいきたいと思っています。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。すみません、じゃあ、この二次計画というのは4月からということですね、失礼しました。部長がおっしゃった社会福祉士も今度こども課に配置してということですが、以前も、施設をつくりなさいということではないんですけれども、しなくてもいいとうたわれておりますし、以前に南風原版のネウボラも同じような感じで本町としては確立しているということでご答弁をいただきました。今回はそれプラス防止の観点からは同じような暗示ではあるかと思いますが、プラス虐待防止というところに重点を置いているのが今回の特徴でございますので、そういったところも踏まえて中の体制は早急に、ある意味専門的なというか、職員を専門的に対応していただく方を置いていただいて、しっかり対応できるような体制を是非とも早目をお願いしたいと思っております。

それで児童相談所に相談が来たのは四百何名かのうち3名、7名ですけれども、私が調べた女性相談所に行かれた平成27年度では100名の方が相談に、女性相談所ですね、いわゆるDVの相談がそのうち73人という数字がありまして、これは平均的に、余り変動はないような感じで受けとめています。今回の事件もDVがあって、母親として何もすることができなかったというところでも報道の中にありまして、やはりこのDVは虐待との関係にかなり深く結びついているところだと思っておりますので、この辺の体制を、相談がしやすいような体制、そこら辺は民生委員などのお力もいただいて支援につなげていただきたいと思うんですけれども、それに関してはいかがでしょう。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 我々もしっかり、そこはどんな些細な情報も見逃さないような形で、地域で活躍される、支援される民生委員、それから社協のコミュニティーソーシャルワーカー、あるいは施設の方々とか、たくさんそういった地域でかかわる方々がいらっしゃいますので、しっかり連携して、些細なことも見逃さないような形でDVも含め、虐待対応等、しっかり対応していきたいと思えます。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん それではよろしく願いいたします。

そして(3)の本町が行っている対策でありますけれども、今おっしゃったいろんな総合支援的なものと、また若年妊婦のそういう元気ROOMも含めた支援体制が本町には整っていて、またスタートするということですので、しっかりと地域の皆様との連携をお願いしたいところであります。答弁にもありましたポスター掲示、11月の児童虐待防止月間で皆様にもお配りをしている189(いちばやく)というパンフレット、これはどこからかけてもお近くの児童相談所につながる番号となっておりますので、そこら辺の周知の徹底を、現在も行っているということですが、さらなる強化のほうが、こういった

先ほど申し上げました子ども家庭総合支援拠点に対しても、そういうものが南風原町はできているということで、お知らせだとかパンフレットの周知徹底を是非、月間もしくは皆さんの話題となっているときにホームページなどに上げていただくと、皆さん非常に興味を持たれて見られるのではないかと思いますのでよろしく願いいたします。電話での189（いちはやく）でございますけれども、ことし2月の補正で予算も計上されていて、準備が整い次第、これまでは通話料が出たわけですが、電話をするに際して。それが無料化になっていくという情報もお伺いしておりますので、そこら辺も無料ですという周知徹底を是非お願いしたいと思えます。あと一つとしては、是非行っていただきたい提案でございますけれども、ホームページの中に、今、本当に相談事業が解決への早道でございますので、全ての点において、前回の議会でも相談窓口、1階のほうでしっかりやっているとということでありましたけれども、なかなかわかりづらい。それで私が思うにはホームページの、相談窓口という一コマをつくっていただけないかということです。はえるんコーナーだとかいろいろありますけれども、そのコマを1つつくっていただいて、そこから入っていけば相談窓口、どんな相談窓口にも広がっていくようなことができないかということで、本当に相談をすることが一番の解決の近道ですので、そしていろんな機関へつながっていきますし、いろんな面で防止策と捉えられると考えておりますが、その件について見解をお伺いします。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 貴重なご提言ありがとうございます。我々もこちらが相談窓口ですよの周知というのは大変重要視しております。この虐待のみではなくて、さまざまな子育て支援を含めて、以前も浦崎議員からご提言等がありました子育てのアプリ活用とか、そういったものも含めて、そういったものの中で、またこういう窓口の開設とかもできるのかとか、それもまたしっかり検討して、相談しやすい、いつでもすぐ相談できるという部分ではホームページの中での開設も有効だと思いますので、この子育て関連のアプリ等の導入の中でもしっかり検討して取り組んでいきたいと思えます。また、児童虐待防止推進月間のみではなく、議員おっしゃいますように、日ごろからいち早くの情報提供とか、いろいろな場面で周知徹底等を図ってまいります。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。特に若年妊婦とか産前産後のうつだとか、そういうふうにしてしっかりと窓口も整えているんですけれども、やっぱりわかりづらいし、前回質問いたしました地域包括支援センター、またたどっていけば開くんですけれども、なかなかどこに相談するというのが、そのホームページ上見つからないので、あったらいいなという思いがありますので、できるだけ早目の開設をお願いして（3）を終わります。

（4）です。教育委員会の答弁でございますが、いろいろな機関と要対協、要保護そういったケースを個別ごとに行っているということでございますが、現在、連絡体制の強化を図っているということでございますが、まず質問したいのはどのぐらいのペースで行っているのか。そのケース会議において、糸満市におきましては記録がなかったというところも言われておりますし、ペースと記録はどうなっているかお聞きします。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 教育委員会の体制ですけれども、答弁にありました教育相談員連絡会については毎月行っているんですけれども、これとはまた別に学校のほうでも各担任の先生について、小学校のほうでは学年ごとのケース会議でありますとか、それから中学校だと教育相談員を含めたケース会議等が大体1週間に一遍ぐらいですね。その辺をまとめて先ほどの教育相談員の連絡会等がうちのほうで行われているというペースであります。その連絡会についてはこども課の子どもROOMの支援員であるとか相談員であるとか一緒に交えて、その辺の情報の共有をしているというところでございます。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。今回のニュースを見て、改めて教育委員会という体制を考えられたことがあるか。それとも今のままの体制なのか、そこら辺を確認いたします。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 今回の件で、まず一番最初に、校長教頭連絡会があるんですけれども、それから園長等ですね、その辺にも、まず一番身近な担任が虐待等の兆候が発見できる形になりますので、その辺の見落としがないようにしてほしいということと、それから生徒指導の連絡会とか教育委員会の体制ですね、その辺も強化してほしいということ

でのお願い、それから指導をしております。もう一つ、今回連絡体制の話で言われているところの威圧的な形での体制についても、再度、教育長のほうからもお話があって、そういうことにおいては毅然とした態度で、裁判であれば裁判という形を、脅かされることがないようにやっていただきたいというお言葉もありまして、我々のほうとしてもその辺についてはまた職員のほうにもそういう指示をしております。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。教育委員会もしっかりとそこら辺は、今回の事件を受けてまた話し合われたということが確認できました。やはり新聞報道では当時通っていた糸満市の小学校での情報が一部にとどまって、結果的には対応が不適切だったのではないかと問われているわけですが、また転校していったところへの申し送りだとか、そこら辺の連携が一番大事だと思っております。そして今おっしゃった市内こども課とか、それから学校との連携を図っているということですが、そういった会議を持つときに、先ほども述べましたけれども、女性相談所に相談が来ている件数、本町の。そこら辺の数字も把握していただいて、総合的な観点から進めていただきたいということも思いますので、その辺についていかがなのか。それで先ほど個別ケースの会議において記録はどうかとお伺いしたと思うんですが、これも答弁お願いいたします。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 野原 学君 記録については、その会議に参加した担当のほうでしっかりと残しております。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 先ほど提案のありました会議の持ち方についても、再度こちらのほうで、先行してこども課のほうとか福祉部門のほうでいろいろ進めていますので、教育委員会の部分は教育委員会で、今分けて会議はしておりますけれども、再度、強化ができるかどうか検討しながらやっていきたいと思います。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん 是非とも、その強化に関しては、やはり別々に行わず、1つのテーブルについてやっていただきたいということの要望を申し上げて、本当に子供の健全な成長を是非教育委員会の責任のもとにしっかりとやっていただきたいことを申し上げて、この質問を終わります。

次に未婚ひとり親支援についてですが、数をいただきました。まず、数の把握の仕方ですが、これは本町ですぐわかるものなのかどうか。また未婚なのかどうかというのは本人の申請によるものなのかどうか、ここら辺を確認いたします。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 前城 充君 数の把握につきましては、児童扶養手当を申請する際に、添付書類に戸籍添付がございますので、そのこのほうを確認して全部実数として抑えられます。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん それでは申請せずに町のほうでわかるということでございますね。今、那覇のほうでは漏れている、受給対象者に対して申請が少なかったという報道がありましたけれども、本町はどのような状況なのかをお願いします。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 前城 充君 本町としては、対象者全員に児童扶養手当が支給されているところでございます。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん それでは、数はしっかりと把握されていて、皆さんに行き届いているということでございます。

続きまして、未婚ひとり親の支援ですが、答弁でひとり親世帯と、支援と同様にとありますけれども、現在行っているものもひとり親世帯と同様な支援が未婚のひとり親世帯に対しても行われているのかどうか、保育園の減免とか利用者負担の減免などがありますけれども、全てが適用されていると考えてよろしいですか。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 前城 充君 保育料に関しても、減免取り扱い要領のほうにしっかりと明記してございますので、さらにまた学童クラブのほうも減免措置がございますので、同じような取り扱いで対応しております。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。この未婚ひとり親世帯に対しての支援策で内容をですね、ひとり親世帯はこういったものがあるよという案内とか、こういったものができますとか、例えばひとり親世帯に対する日常生活の支援事業の利用料が減免になりますとか、全てそういう案内は、結局こういう制度があって使えますという案内はされているのかどうか。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 前城 充君 新生児、毎年1回は現況届がありますので、その際に案内しておりますし、学童であれば、学童のほうでもさらに案内をしておりますので、そのほうは周知できていると思っております。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。それは制度的なものは全て案内をして、しっかりとやっていただいているということがわかりました。未婚であっても、寡婦であっても同じようにお子様がいるわけですから、同じような体制でやっていただいていることは、本当に南風原町の誇りだと思いますので、国は去年あたりからそういうふうになっていきましたけれども、先んじてそういうふうにやっていただけていることは本当にありがたいと思います。またそういった福祉の精神をしっかりと今後も続けていっていただきたいと思います。

答弁にもありました1万7,500円の支給が1月にされるということ、そういったふうに国のほうとしても充実をしておりますし、また2020年、来年ですけれども、住民税も非課税に持っていくような流れになっているようでございますので、そこら辺の情報の周知徹底もしっかりとよろしくお願いしたいと思います。そういった減免に対しては手元の現金を出すのが減るわけですから、ひとり親にとっては現金給付に値する重要な施策であるということの指摘もありますので、今後とも今の体制でよろしくお願いを申し上げまして、この質問を終わります。

続きまして、子育て支援の体制ですけれども、現在、待機児童は261名と、先日の大城勇太議員にはプラス67名ふえているということで、本当に頭の痛い問題でございますが、仮に、現在認可保育園が14ありますが、この14園の保育士が足りなくて待機児童がふえている部分もありますよね。その保育士を補充した場合、仮に何名補充した場合、待機児童はどれぐらい減少になるのか、その辺がわかればお願いいたします。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 14の認可保育園に確認をとりまして、現在、3人の保育士が足りていなくて、16名の子供が受け入れできないという状況であります。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。16名が待機児童の中から減っていくということですが、やっぱり一番問題なのは保育士の確保ですけれども、各園とも経営方針が違うというところもありまして、保育園任せですけれども、町としての取り組みというものは何か具体的にありますか。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 前城 充君 町内の認可保育園は11月ごろに新卒の保育士の養成校に対してオープン保育の案内をします。早いうちから認可保育園を案内すると保育士確保につながるということで、そのあたりの後方支援を町としてはやっております。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん これまでのことに関しては、かなり先進的なことでやられていたと思いますけれども、ほかに方法は本当にないんでしょうか。それでもっとも、案内をかけても園長会からの要望の話では本土に持っていかれるということで、自分たちのところに案内、視察に来て、結局向こうに持っていかれることが多いということですが、本当にそこら辺の支援を、このままでいいのかという思いが私はあるんですけれども、再度ほかの手だてがないのかどうかお伺いいたします。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 町だけではなくて、国を挙げて保育士の確保についての支援をしているところでございまして、いろいろな補助メニュー、こういったものがありますということも町もしっかり認可園に情報提供して、スムーズに補助事業、補助メニュー等を活用して保育士の確保につながるような取り組みをしております。例えば保育士の日ごろの業務の軽減ということで、事務の軽減の部分、ICTを導入して登降園システムによる管理とか、そういった部分でも本町では平成28年から随時各園取り組みを始めていまして、ほとんどの園がそういった登降園システムも整備していると。あるいは保育補助者の

雇いあげとか、そういった部分での補助事業もありますので、その活用もされているとかありますので、ほかにどのようなものがあるかいろいろまた研究して、認可園と連携して取り組んでいきたいと思ひます。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。本当に苦しいご答弁でございますが、ありがとうございます。今回、来月からですか、認定こども園が261名ということですが、小規模も含めて新設に向けていくわけですが、このこども園ができることによって待機はどれくらい減るとかの数字は出ていますか。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 この261名というのは4月1日入所時点での待機ということで、開設します認定こども園は4月1日オープンでもう既にこの部分は反映されての261名待機ということでございます。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん 失礼しました。ありがとうございます。すみません、お聞きしたかったのは、この認定こども園ができることによって待機児童にも反映されたかどうかというのを、再度お聞きいたします。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 この認定こども園の中で2号を認定の対象として、60名の枠がございますので、その分は待機児童解消につながったということになります。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。60名減っても、要するに残りが261名いるということですね。わかりました。またしっかりといろいろな知恵を出し合って頑張っていきたいと思ひます。

(3)の保育コンシェルジュの件でございますが、これまでもそういった取り組みがなされて、やはり保護者の皆さんには喜ばれていると思ひますが、支援員の配置によって保護者からの反応事例などがあつたら教えていただきたいと思ひます。

○議長 知念富信君 こども課長。

○こども課長 前城 充君 毎年本町は1月から3月までの間、待機児童になられる家庭のお母さん方が窓口へ来られますが、認可保育園に入れない場合の次の手だてとして、認可外とか、そこの紹介をしてほしいというところがあります。コンシェルジュのスタッフは町内だけではなくて、町外も含めて、特に那覇市ですね。お母さんが働いているところに近い認可外なども調べて情報として提供してございますので、そのあたりから感謝の声は聞かれたりします。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。保護者にとってはそういう情報が得られることは本当に精神的に、いろんな道があるということもまた情報として得られますし、今後の活躍も期待をしたいと思います。この質問は終わります。

次に防災・減災についてお伺いします。東日本大震災から8年目の3月を迎えました。災害の教訓を生かすべく、防災対策を一つ一つ積み上げていきたいと思っております。このたび町の一般報告のほうで第一病院と医療ケア児、災害時における協定が結べたことは本当に喜んでいます。当事者、家族の方も安心していただけていると思ひます。これまでの努力に対しまして本当に敬意を表したいという思いでございます。

ここで質問ですが、関係者に対しては今後どのように周知をしていくのか。今後の流れについてお伺いをいたします。それからケア児だけではなくて、例えば酸素吸入をなさっている方、電源を必要とする方々もこれは使えるのかどうか、そこら辺をお願いいたします。それから保育所における福祉避難所はどのような形で運営をされていくのか、お願いいたします。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 休憩をお願いします。

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午前11時44分）

再開（午前11時45分）

○議長 知念富信君 再開します。民生部長。

○民生部長 知念 功君 お答えします。まず災害時に配慮が必要な方々、そういった福祉避難所等の利用が必要な方々に対する周知についてはこれから検討してまいりたいと思ひます。この周知の方法については、やはり残念ながら、これまで他府県であります災害

時において福祉避難所が使えなかったとか、そういった情報等もありますので、いろいろ研究してその周知の方法は検討してまいりたいと考えております。それから医療的ケア、第一病院との協定に関しましては、医療的ケア児のみではなくて、医療的ケアが必要な要配慮者ということで協定を結んでおりますので、議員がおっしゃいますような酸素吸入の必要な方とか、そういった方々の利用ができるような協定となっております。それから子育て世代等の避難所としての14の認可保育園の活用ですが、運営方法については、その都度またこの協定の中ではいろいろ協議していくということをしておりますので、今後どのようにして運用していくのか、その辺をしっかりとこれから取り組んでいきたいと思います。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。本当にいろんな問題が、まずは協定を結べたことが第一歩でありまして、スタートとなるわけですがけれども、いろんな方法があって、うまく運営をしないと、またそこがパニックになってしまうということがありますので、そこら辺はよろしく、今後とも各関係者の方、対象者の方も交えながら、是非進めていただければありがたいと思います。その辺は終わります。

次に(2)です。これはこの間、議員の現場調査にも行きました68号線の照屋橋ということでございますが、点検した結果そこになったということですがけれども、ほかにも検討すべき箇所があったのかどうかお伺いいたします。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 答えします。点検業務を、平成28年と29年に行っております。町道における58橋を点検いたしました。その結果、健全度の状況を調査するわけですがけれども、照屋橋のみが判定が段階的に4段階といたしますと、3段階で早期処置との判断が下りまして、それで照屋橋をこの事業で、基本的には架けかえになると思えますけれども、架けかえていくということになりました。ほかのところは健全のところと、予防保全段階というのがございます。それはちゃんと経過を見ていきなさいという状況で、緊急に架けかえるとか、この事業をもって修繕をするというレベルのものではなかったというところでございます。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん 現場調査をしたときに、同僚議員からも指摘がありましたけれども、現状での設置ではなくて、川の幅員に合わせて設置するべきだと私も思うんですが、その点についてはどうでしょうか。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 これは下水道の位置づけもされておりますので、この辺は担当課と調整して、ちゃんとできるものができるようにやっていきたいと思います。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん 直すわけですから、この機会をしっかりと生かして、よりよいものにしていっていただきたいと思います。

それでは(3)の放課後児童クラブの件でございますが、これは訓練等はやっておりますけれども、町の対応というか、そこら辺の条例だとか、そういったマニュアル作成の手助けだとか連絡体制の、そこら辺になっていると思うんですが、これに対しての見解をお伺いいたします。そして改めてこの学童クラブに対しての調査などの現状を把握する必要がないのか、以上、質問いたします。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 まず、児童クラブの災害時の避難訓練や計画については、本町の条例において南風原町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の第6条第1項のほうで規定されております。放課後児童健全育成事業者は消火器等の消火用具、非常口、その他非常災害に必要な設備を設けるとともに、非常災害に対する具体的計画を立てて避難及び消火に対する訓練を定期的にこれは行わなければならないということで条例で規定しております。ですから、まずこの学童クラブを運営する事業者に対しては、しっかりとこの条例を遵守して、その計画を立てまた定期的に訓練をするようにということで、我々も指導をしております。議員おっしゃいますような、そういったマニュアル作成のアドバイスとか我々ができる部分に関しましては、しっかりと相談を受けながら、できる部分に関しましてはまた支援をしていきたいと思います。

○議長 知念富信君 10番 浦崎みゆき議員。

○10番 浦崎みゆきさん ありがとうございます。今部長は要請があればとおっしゃった

のかな、そうではなくて、積極的に対応していただきたいと思います。なぜかという
うと、子供たちに追われてなかなかそこまで細かい視点まではいかないのが現状かとい
ふうにも思いますので、できれば調査などをしていただいて、現状把握とともにそうい
ったマニュアルを1つつくれば、皆さんまたそれに沿った自分たちなりの対応ができると思
いますので、本当にこの防災・減災のことを強く認識をしていただきまして、また大切な
子供たちの命を守るために、何ができるのかともに考えながら頑張っていただきたいと思
います。以上、質問を終わります。